

# ひらしか

## 第40回 景気動向レポート

2021年10～12月期

### ○概要

調査時期 令和3年12月上旬  
 調査地域 平塚市、厚木市、相模原市、大和市、  
 伊勢原市、秦野市、座間市、  
 海老名市、茅ヶ崎市、高座郡、愛甲郡  
 全調査先 当金庫取引先 319先  
 回答先数 当金庫取引先 312先  
 (内訳) 製造業：62先  
 卸売業：19先  
 小売業：45先  
 サービス業：73先  
 建設業：83先  
 不動産業：30先  
 回答率 97.8%

### ○調査方法

当金庫職員による面接聞き取り方式、または、  
 調査先による直接記入・回収方式

### ○分析方法

DI (Diffusion Index)  
 DIとは、各質問項目に対して「良い(増加・上昇)」  
 と回答された企業の割合から「悪い(減少・下降)」  
 と回答された企業の割合を差引いて算出した指標です。  
 DIがプラスであれば上向き、0であれば現状維持、  
 マイナスであれば下向きというように判断できます。

### 業況DIの推移 (業種別DI天気図)

	2020年 10-12月期	2021年 1-3月期	2021年 4-6月期	2021年 7-9月期 (前期)	2021年 10-12月期 (当期)	2022年 1-3月期 (予想)
製造業	↗ ☔	↗ ☔	↗ ☁	↗ ☁	↗ ☁	↘ ☁
卸売業	↗ ☔	↘ ☔	↗ ☔	↗ ☔	↗ ⬆	↗ ☁
小売業	↗ ☔	↗ ☔	↗ ☁	↘ ⬆	↗ ☁	↘ ⬆
サービス業	↗ ☁	↘ ⬆	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁
建設業	↗ ☁	↘ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁
不動産業	↗ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ⬆
全業種	↗ ☁	↘ ⬆	↗ ☁	↗ ☁	↗ ☁	↘ ☁



# 全業種

今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況・売上・収益D I 共に悪化の見込み

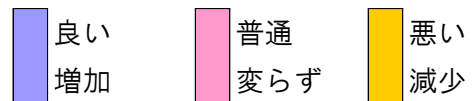
2021年10～12月期の当金庫営業地区内における業況DIは、対前期比+6.7ポイントの▲5.4と3期連続の改善。建設業を除く全業種で改善となりました。

売上DIについては、対前期比+13.4ポイントの4.5となり、収益DIは対前期比+8.0ポイントの▲3.2となりました。

その他のDIでは、販売・料金・請負価格DIは対前期比+6.4ポイントの4.8となり2期連続の上昇、仕入・原材料・材料価格DIは対前期比+11.6ポイントの45.8となり6期連続の上昇、資金繰りDIは対前期比+2.2ポイントの▲2.2となりました。人手DIについては対前期比▲5.6ポイントの▲24.0となりました。

来期（2022年1～3月期）の業況予想では、卸売業・建設業で改善、製造業・小売業・サービス業・不動産業で悪化を予想しており、全業種総合業況DIは、対当期比▲4.7ポイントの▲10.1と悪化を見込んでいます。

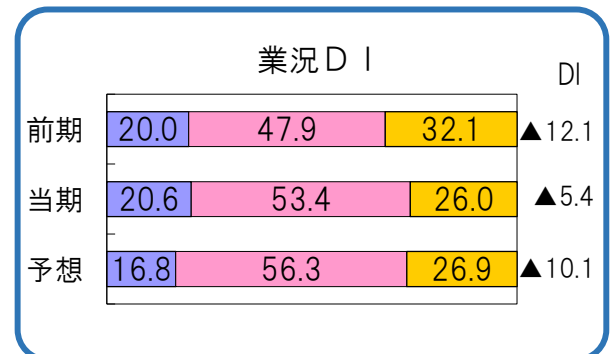
## 主要DI構成



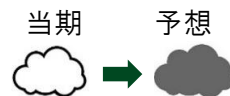
### ○業況DI



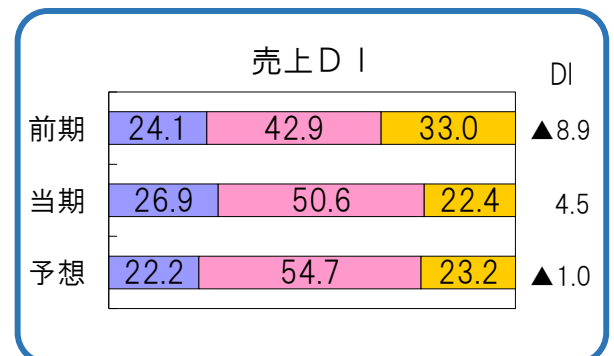
業況DIは、対前期比+6.7ポイントの▲5.4(前年同期▲16.5・前回予想との差+6.1)となりました。建設業を除く全業種で改善となり、業況DIは3期連続の改善となりました。今後の業況DIは、対当期比▲4.7ポイントの▲10.1と悪化を見込んでいます。



### ○売上DI



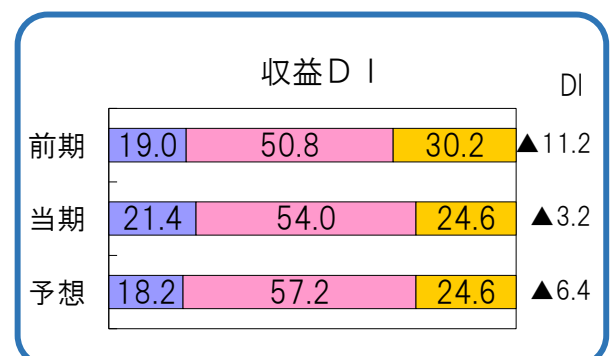
売上DIは、対前期比+13.4ポイントの4.5(前年同期▲6.9・前回予想との差+2.9)となりました。建設業を除く全業種で改善となり、売上DIは大幅な改善となりました。今後の売上DIは、対当期比▲5.5ポイントの▲1.0と悪化を見込んでいます。



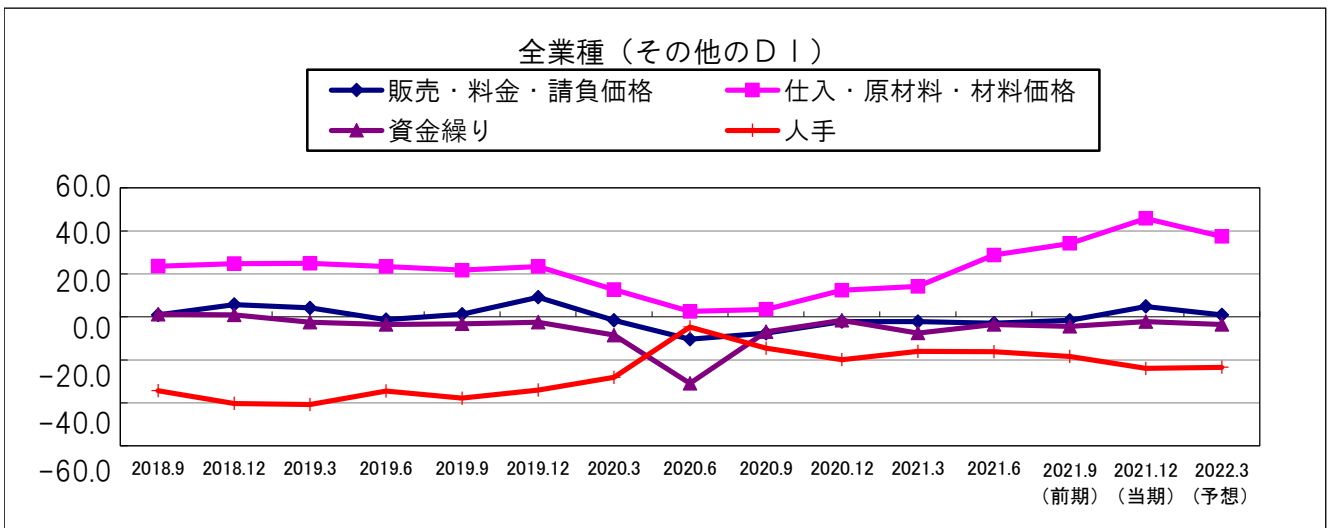
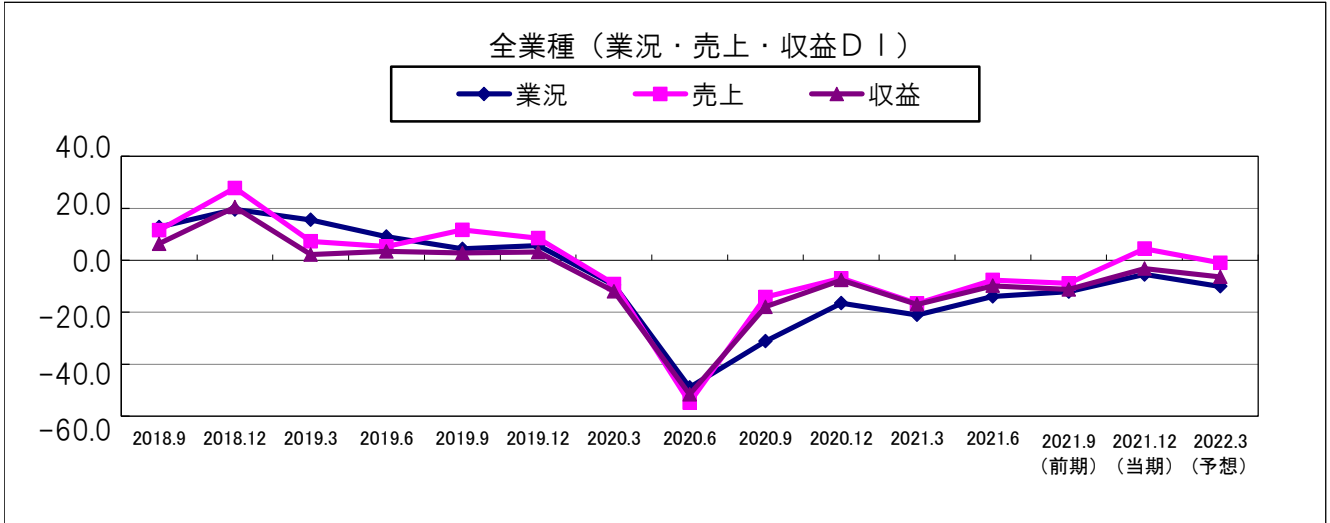
### ○収益DI



収益DIは、対前期比+8.0ポイントの▲3.2(前年同期▲7.6・前回予想との差+0.6)となりました。建設業を除く全業種で改善となり、収益DIは改善となりました。今後の収益DIは、対当期比▲3.2ポイントの▲6.4と悪化を見込んでいます。



DIの推移



経営サポートセンターNEWS

経営者・創業希望者の皆様へ  
課題解決のサポートをさせていただきます！！



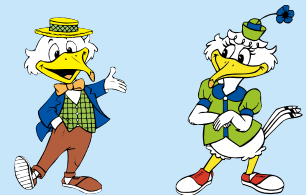
◎課題解決に関するお問い合わせは

〒254-0043 平塚市紅谷町11-19  
平塚信用金庫 営業統括部 経営サポートセンター  
TEL: 0463-24-3031

◎主なサポートメニュー

- 創業支援
- 販路拡大
- M & A
- 事業承継
- ICT
- 補助金等

TRInk Hiratsuka  
平塚信用金庫  
<http://www.shinkin.co.jp/hiratsuka/>



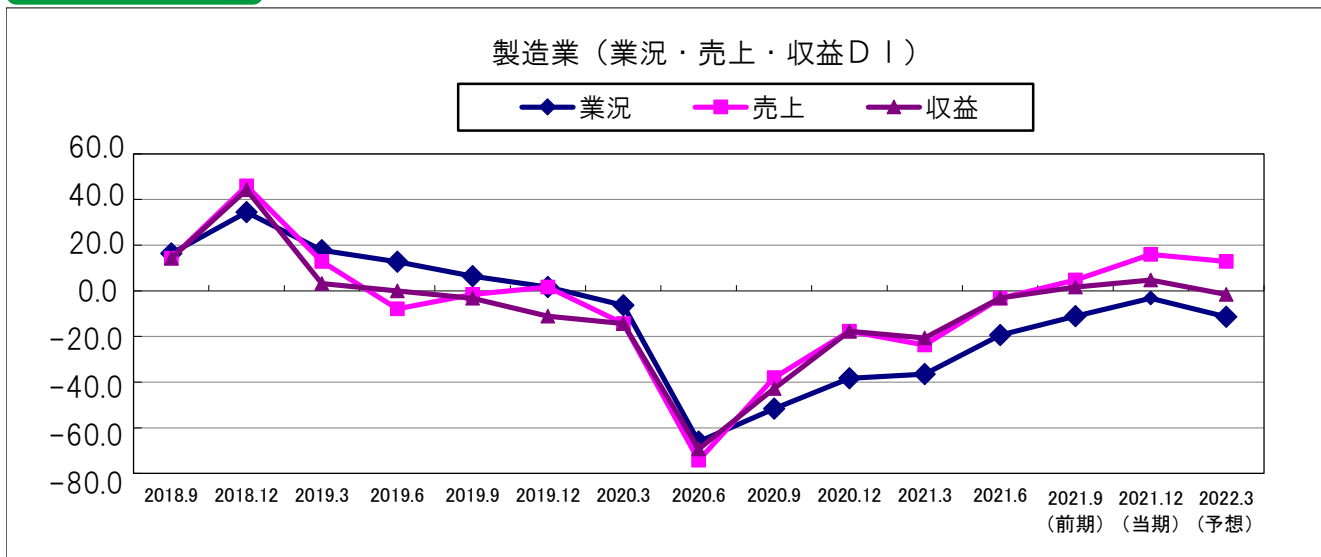
経営サポートセンターでは、  
多くの専門家や外部機関と連  
携して、お客さまの課題解決  
に取り組んでいます。  
お困りごとは、是非ひらしん  
まで。お客さまと共に課題解  
決のサポートをさせていただきます！

# 製造業

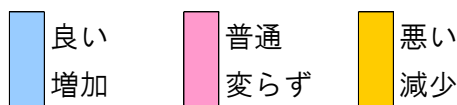
今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況・売上・収益D I 共に悪化の見込み

## 主要D I 推移



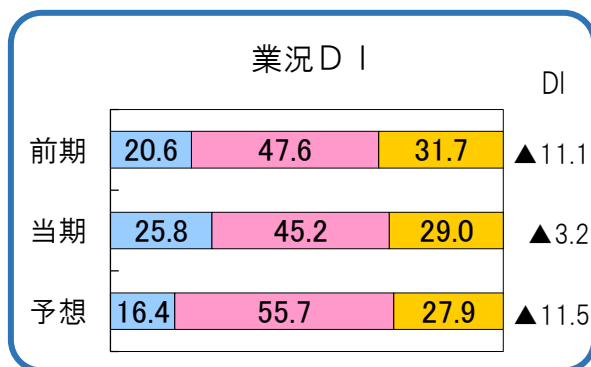
## 主要D I 構成



### ○業況D I



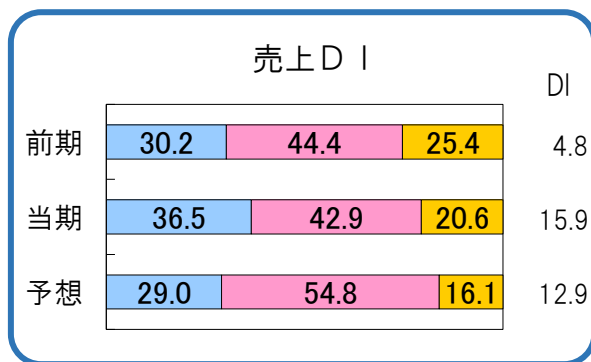
業況DIは、対前期比+7.9ポイントの▲3.2(前年同期▲38.3・前回予想との差±0)と6期連続の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲8.3ポイントの▲11.5と悪化を見込んでいます。



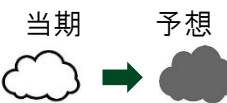
### ○売上D I



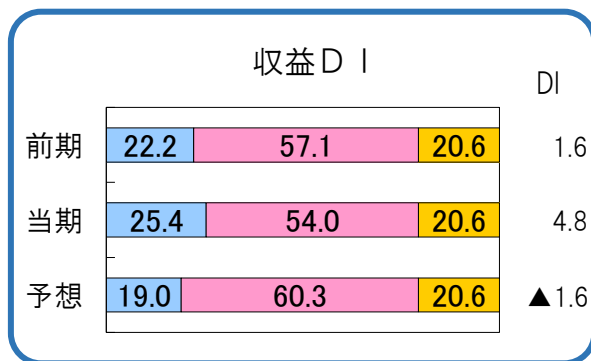
売上DIは、対前期比+11.0ポイントの15.9（前年同期▲17.7・前回予想との差+3.2）と3期連続の改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲3.0ポイントの12.9と悪化を見込んでいます。



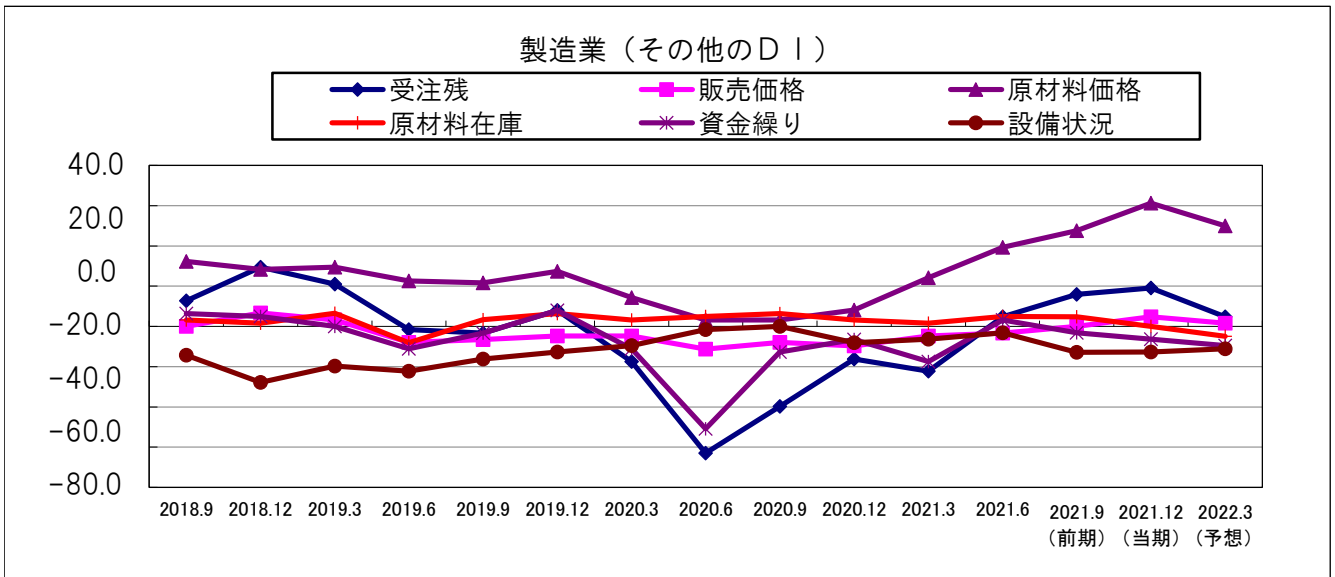
### ○収益D I



収益DIは、対前期比+3.2ポイントの4.8(前年同期▲17.7・前回予想との差+1.7)と3期連続の改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲6.4ポイントの▲1.6と悪化を見込んでいます。



その他のD I 推移

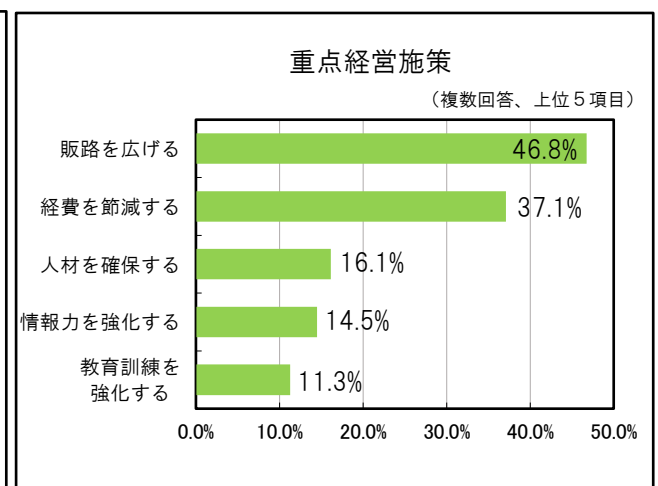
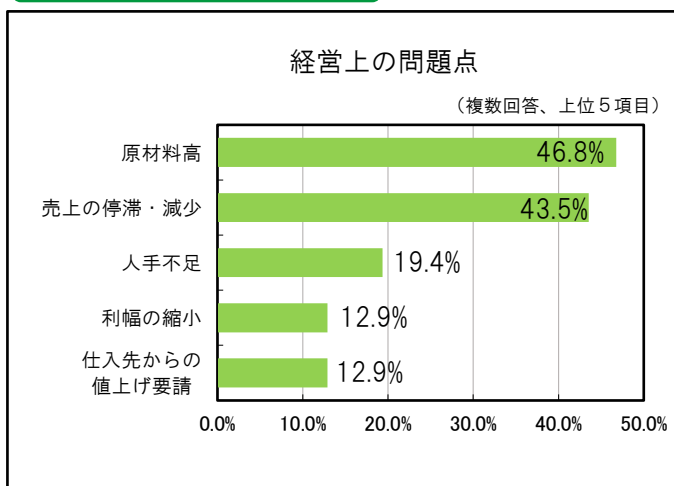


○その他のD I

対前期比でみると、受注残DIは+3.1ポイントの19.0、販売価格DIは+4.8ポイントの4.8、原材料価格DIは+13.7ポイントの61.3、原材料在庫DIは▲4.8ポイントの0.0、資金繰りDIは▲3.1ポイントの▲6.3、設備状況DIは+0.2ポイントの▲12.7となりました。

今後は、設備状況DIは上昇、受注残DI・販売価格DI・原材料価格DI・原材料在庫DI・資金繰りDIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「原材料高」が46.8%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」が43.5%、「人手不足」19.4%、「利幅の縮小」「仕入先からの値上げ要請」が共に12.9%となりました。

【重点施策】

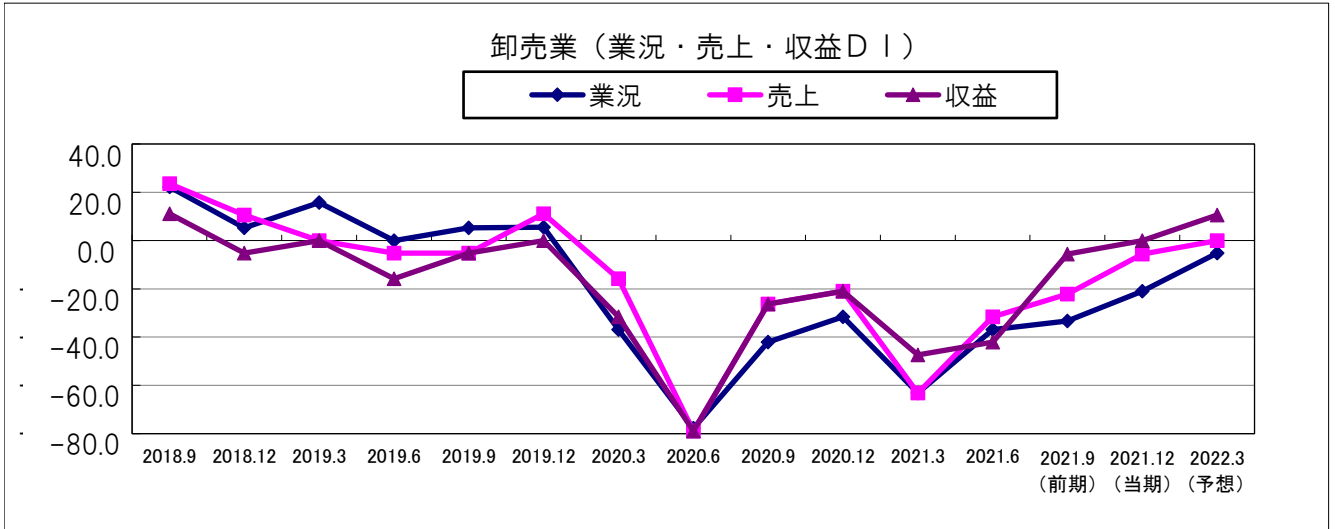
当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」が46.8%と最も多く、次いで「経費を節減する」37.1%、「人材を確保する」16.1%、「情報力を強化する」14.5%、「教育訓練を強化する」11.3%となりました。

# 卸売業

今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況・売上・収益D I 共に改善の見込み

## 主要D I 推移

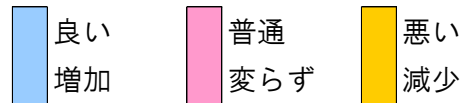


## 主要D I 構成

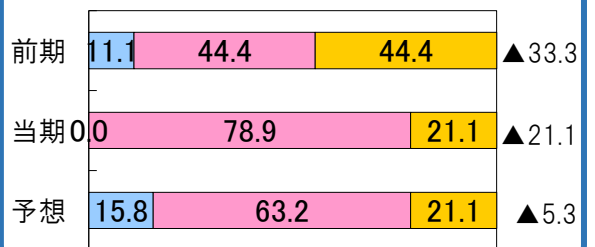
### ○業況D I



業況DIは、対前期比+12.2ポイントの▲21.1(前年同期▲31.6・前回予想との差▲4.5)と3期連続の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比+15.8ポイントの▲5.3と大幅な改善を見込んでいます。



### 業況D I

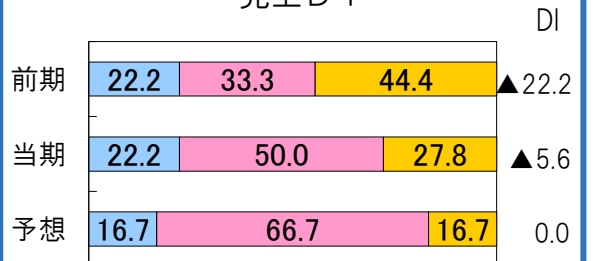


### ○売上D I



売上DIは、対前期比+16.6ポイントの▲5.6(前年同期▲21.1・前回予想との差+5.5)と3期連続の改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比+5.6ポイントの0.0と改善を見込んでいます。

### 売上D I

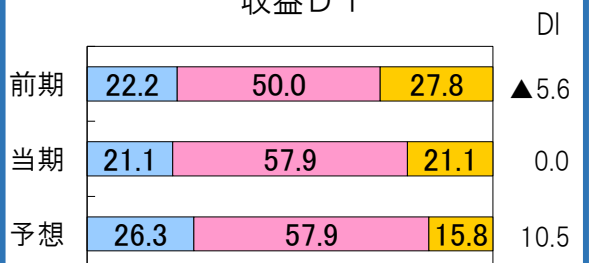


### ○収益D I



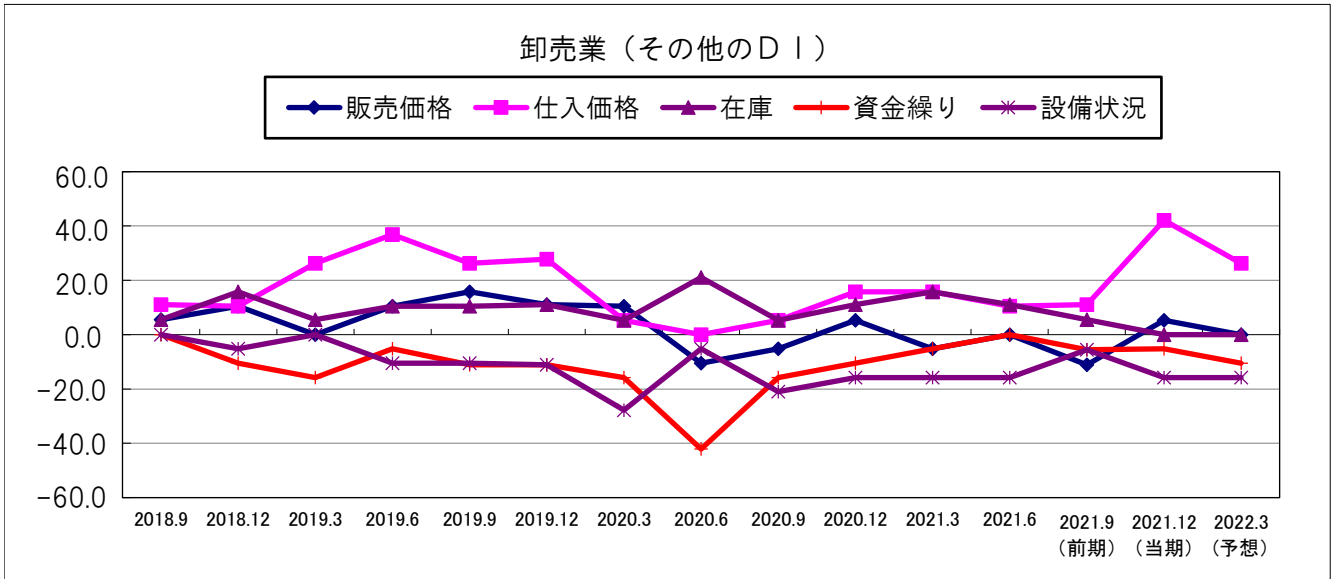
収益DIは、対前期比+5.6ポイントの0.0(前年同期▲21.1・前回予想との差±0.0)の改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比+10.5ポイントの10.5と大幅な改善を見込んでいます。

### 収益D I





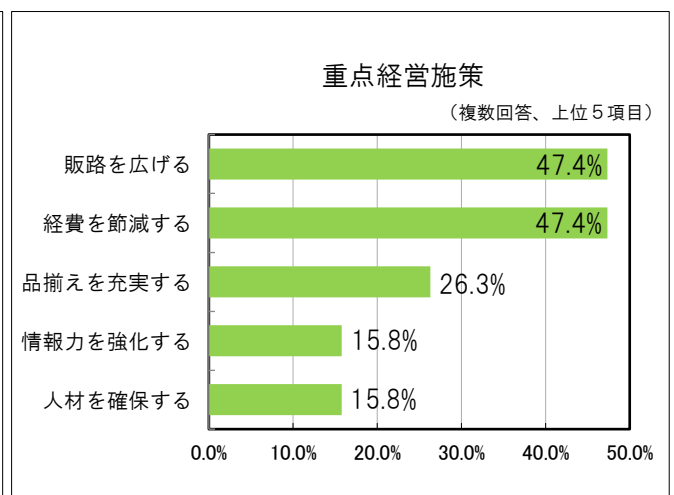
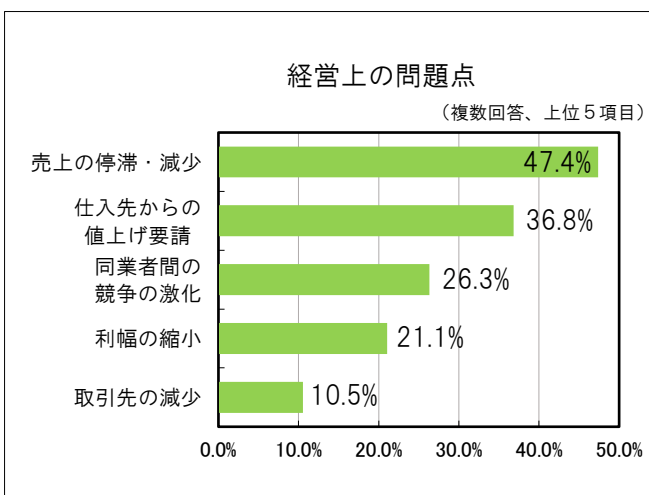
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比で見ると、販売価格DIは+16.4ポイントの5.3、仕入価格DIは+31.0ポイントの42.1、在庫DIは▲5.6ポイントの0.0、資金繰りDIは+0.3ポイントの▲5.3、設備状況DIは▲10.2ポイントの▲15.8となりました。今後は、在庫DI・設備状況DIは横這い、販売価格DI・仕入価格DI・資金繰りDIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」が47.4%と最も多く、次いで「仕入先からの値上げ要請」36.8%、「同業者間の競争の激化」26.3%、「利幅の縮小」21.1%、「取引先の減少」が10.5%となりました。

【重点施策】

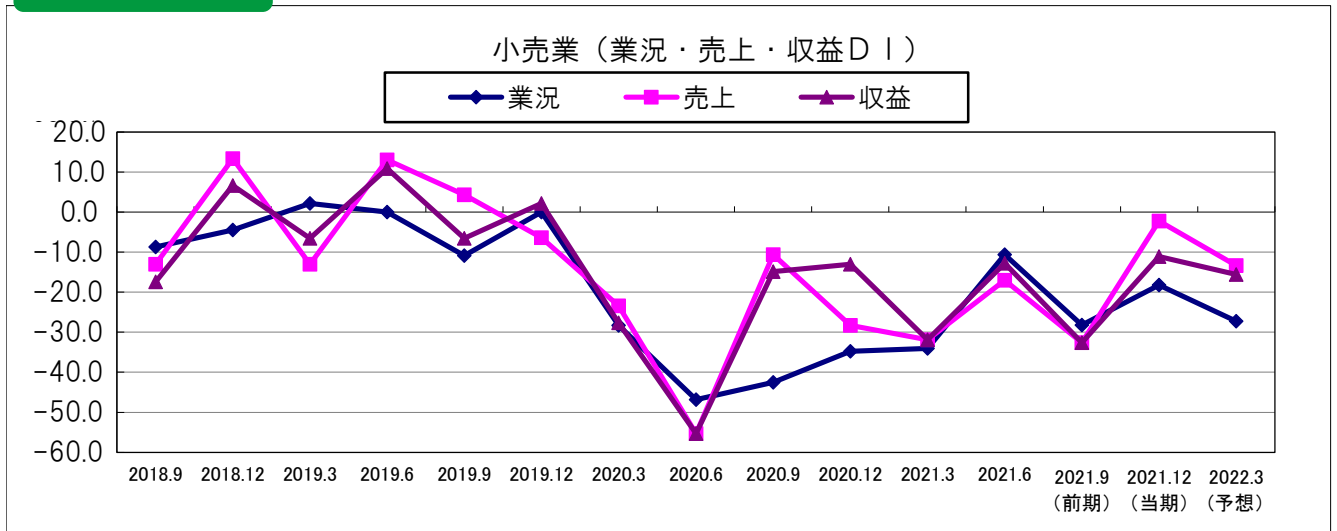
当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」「経費を節減する」が共に47.4%と最も多く、次いで「品揃えを充実する」26.3%、「情報力を強化する」「人材を確保する」が共に15.8%となりました。

# 小売業

今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況・売上・収益D I 共に悪化の見込み

## 主要D I 推移



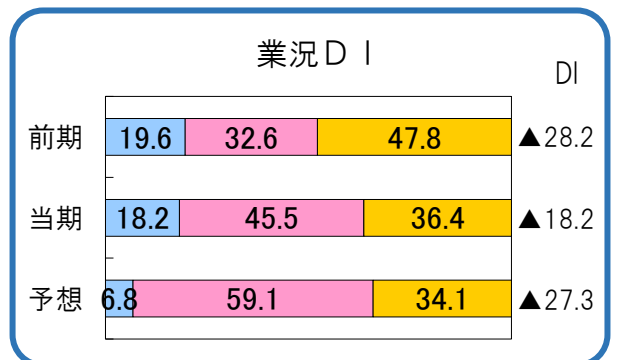
## 主要D I 構成



### ○業況D I



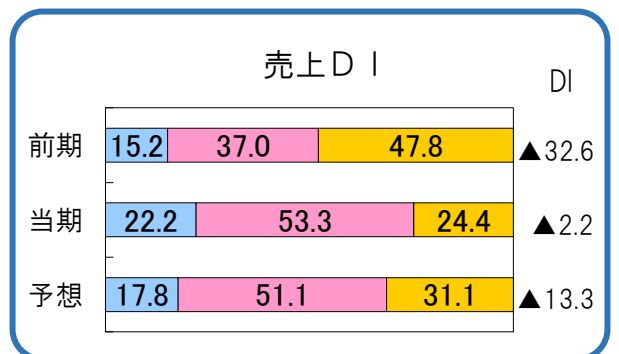
業況DIは、対前期比+10.0ポイントの▲18.2(前年同期▲34.8・前回予想との差▲0.4)と大幅な改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲9.1ポイントの▲27.3と悪化を見込んでいます。



### ○売上D I



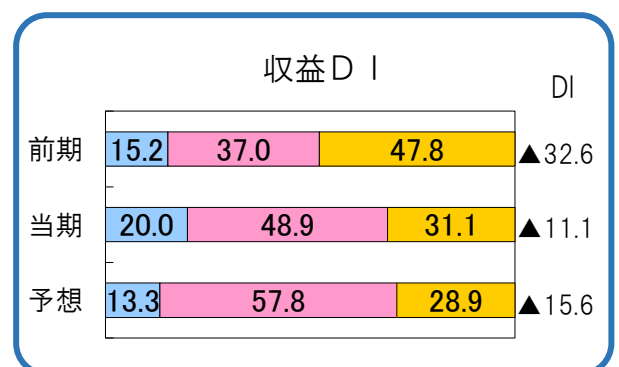
売上DIは、対前期比+30.4ポイントの▲2.2(前年同期▲28.3・前回予想との差▲0.1)と大幅な改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲11.1ポイントの▲13.3と大幅な悪化を見込んでいます。



### ○収益D I

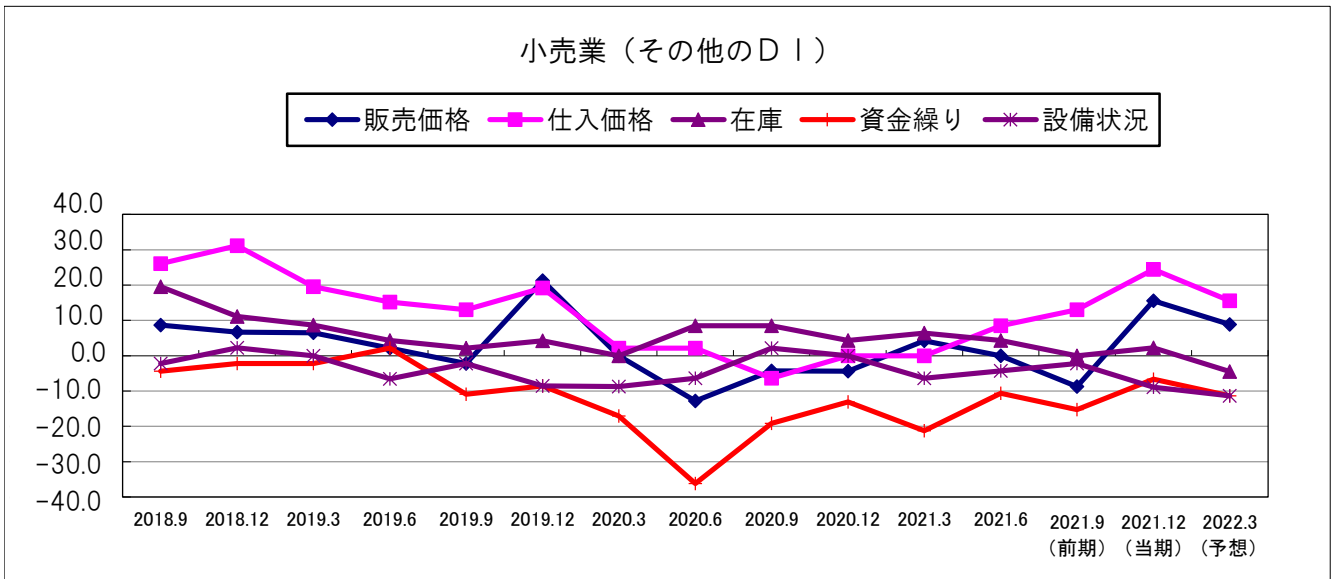


収益DIは、対前期比+21.5ポイントの▲11.1(前年同期▲13.0・前回予想との差▲9.0)と大幅な改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲4.5ポイントの▲15.6と悪化を見込んでいます。





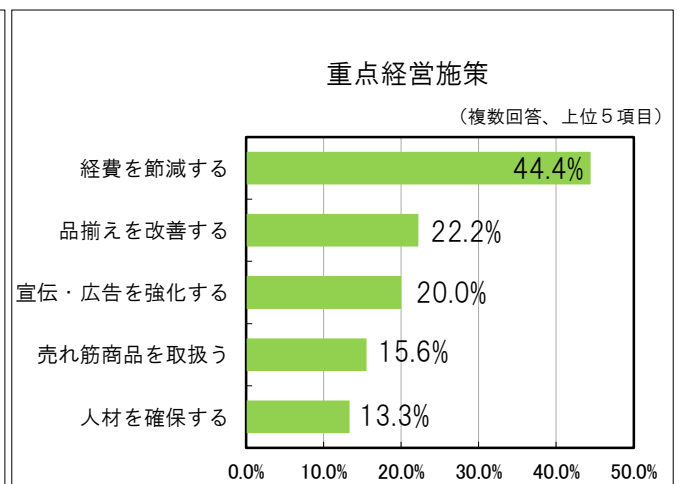
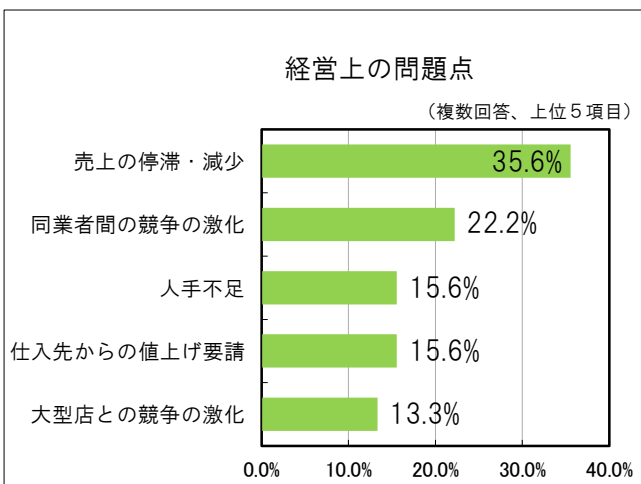
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、販売価格DIは+24.3ポイントの15.6、仕入価格DIは+11.4ポイントの24.4、在庫DIは+2.2ポイントの2.2、資金繰りDIは+8.5ポイントの▲6.7、設備状況DIは▲6.7ポイントの▲8.9となりました。今後は、販売価格DI・仕入価格DI・在庫DI・資金繰りDI・設備状況DI共に低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」が35.6%と最も多く、次いで「同業者間の競争の激化」22.2%、「人手不足」「仕入先からの値上げ要請」が共に15.6%、「大型店との競争の激化」が13.3%となりました。

【重点施策】

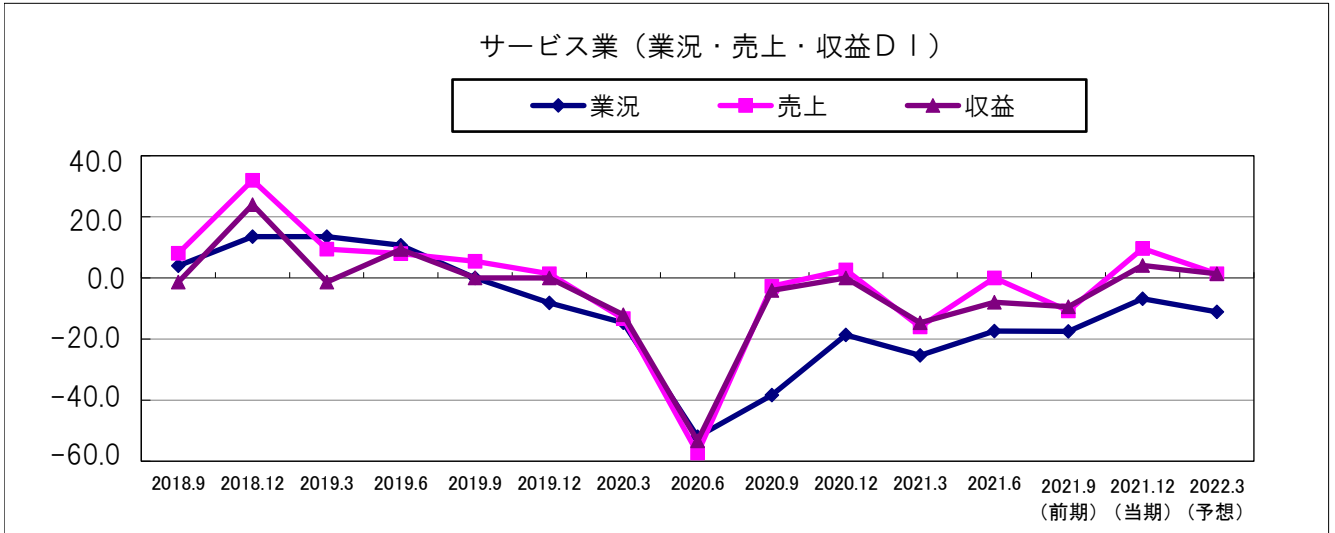
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が44.4%と最も多く、次いで「品揃えを改善する」22.2%、「宣伝・広告を強化する」20.0%、「売れ筋商品を取扱う」15.6%、「人材を確保する」が13.3%となりました。

# サービス業

今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況・売上・収益D I 共に悪化の見込み

## 主要D I 推移

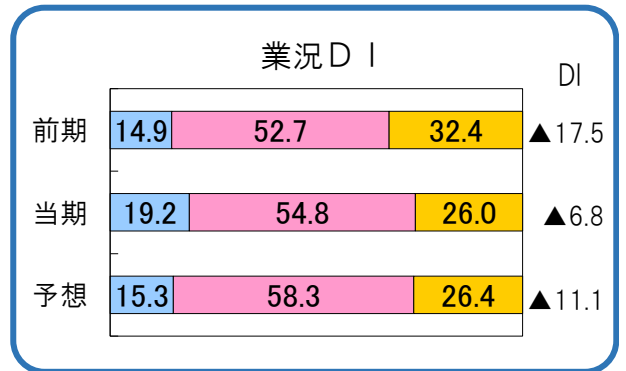
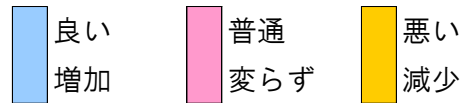


## 主要D I 構成

### ○業況D I



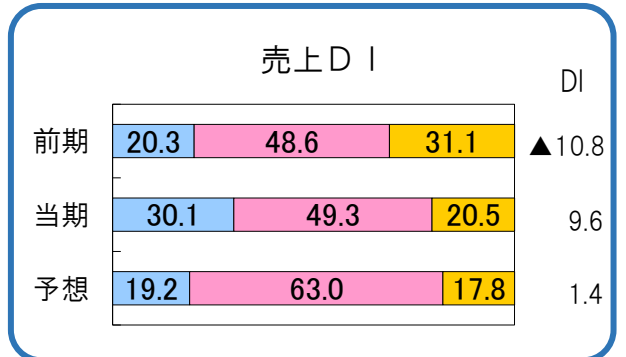
業況DIは、対前期比+10.7ポイントの▲6.8(前年同期▲18.7・前回予想との差+18.8)と大幅な改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲4.3ポイントの▲11.1と悪化を見込んでいます。



### ○売上D I



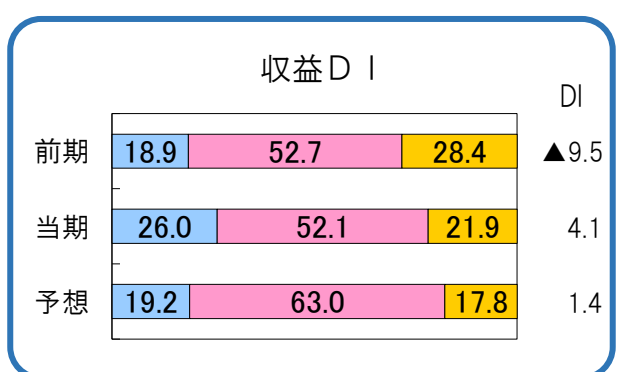
売上DIは、対前期比+20.4ポイントの9.6(前年同期2.7・前回予想との差+17.9)と大幅な改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲8.2ポイントの1.4と悪化を見込んでいます。



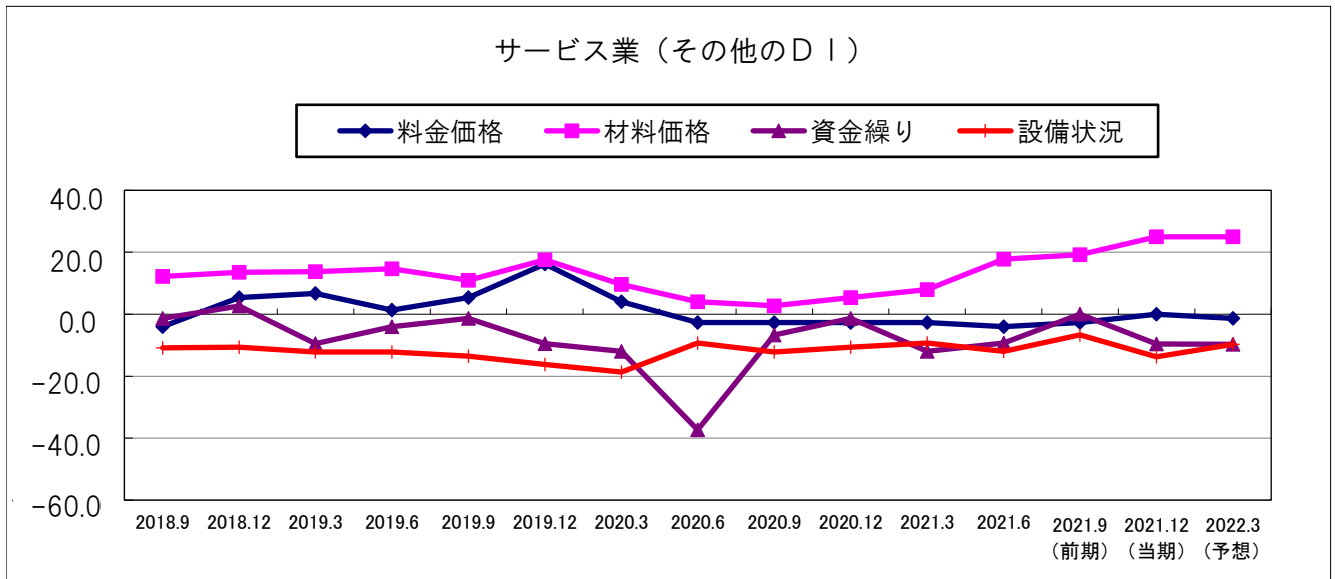
### ○収益D I



収益DIは、対前期比+13.6ポイントの4.1(前年同期0.0・前回予想との差+12.3)と大幅な改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲2.7ポイントの1.4と悪化を見込んでいます。



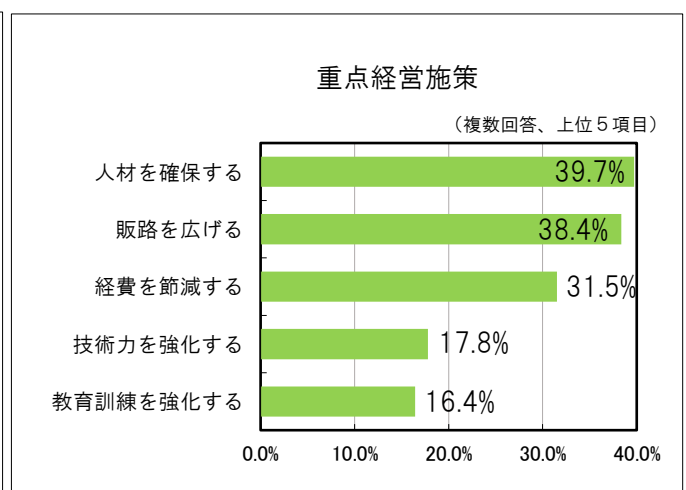
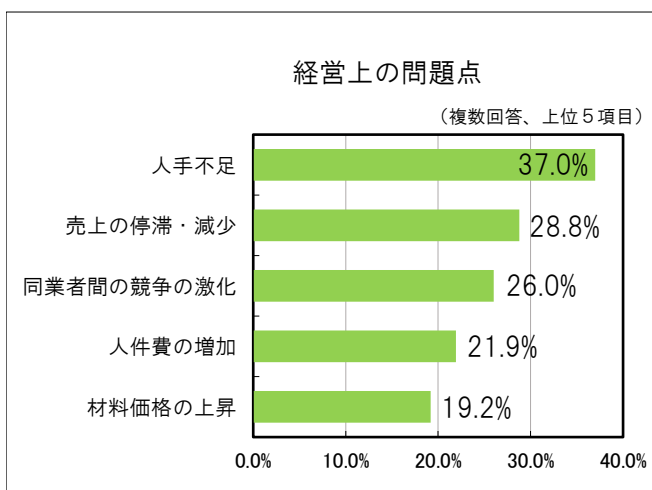
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、料金価格DIは+2.7ポイントの0.0、材料価格DIは+5.8ポイントの25.0、資金繰りDIは▲9.6ポイントの▲9.6、設備状況DIは▲7.0ポイントの▲13.7となりました。今後は設備状況DIについて上昇、材料価格DIは横這い、料金価格DI・資金繰りDIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「人手不足」が37.0%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」28.8%、「同業者間の競争の激化」26.0%、「人件費の増加」21.9%、「材料価格の上昇」19.2%となりました。

【重点施策】

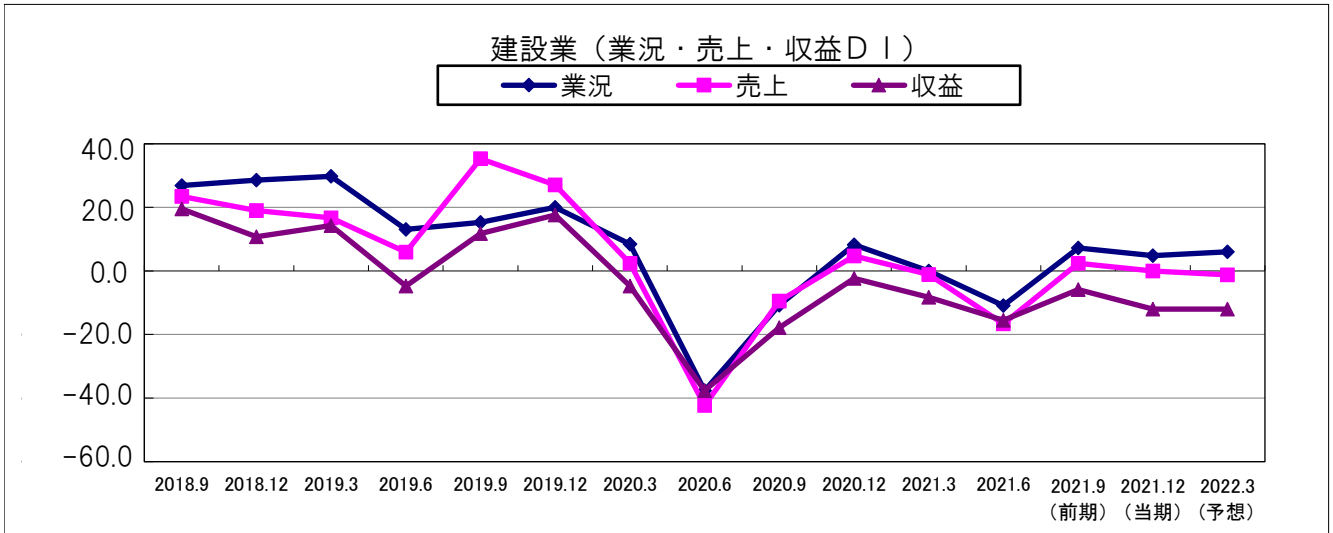
当面の重点経営施策として挙げられたのは「人材を確保する」が39.7%と最も多く、次いで「販路を広げる」38.4%、「経費を節減する」31.5%、「技術力を強化する」17.8%、「教育訓練を強化する」16.4%となりました。

# 建設業

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：業況D Iは改善、収益D Iは横這い、売上D Iは悪化の見込み

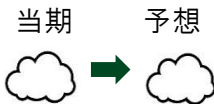
## 主要D I 推移



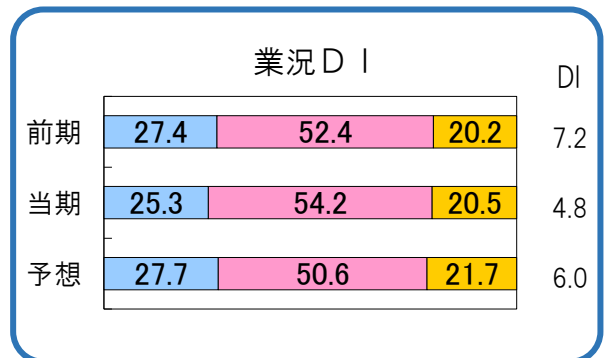
## 主要D I 構成



### ○業況D I



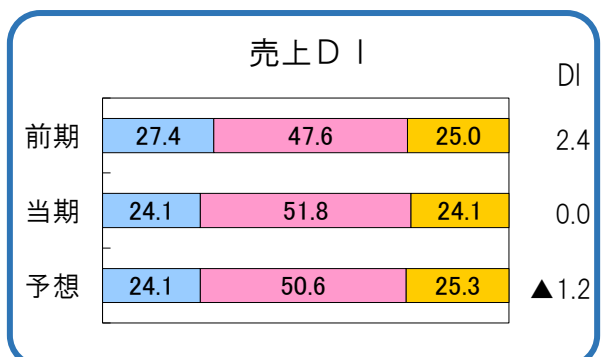
業況DIは、対前期比▲2.4ポイントの4.8(前年同期8.2・前回予想との差+1.2)の悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比+1.2ポイントの6.0と改善を見込んでいます。



### ○売上D I



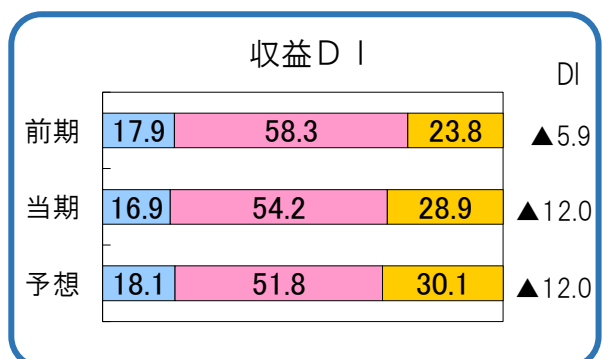
売上DIは、対前期比▲2.4ポイントの0.0(前年同期4.7・前回予想との差▲9.6)の悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲1.2ポイントの▲1.2と悪化を見込んでいます。



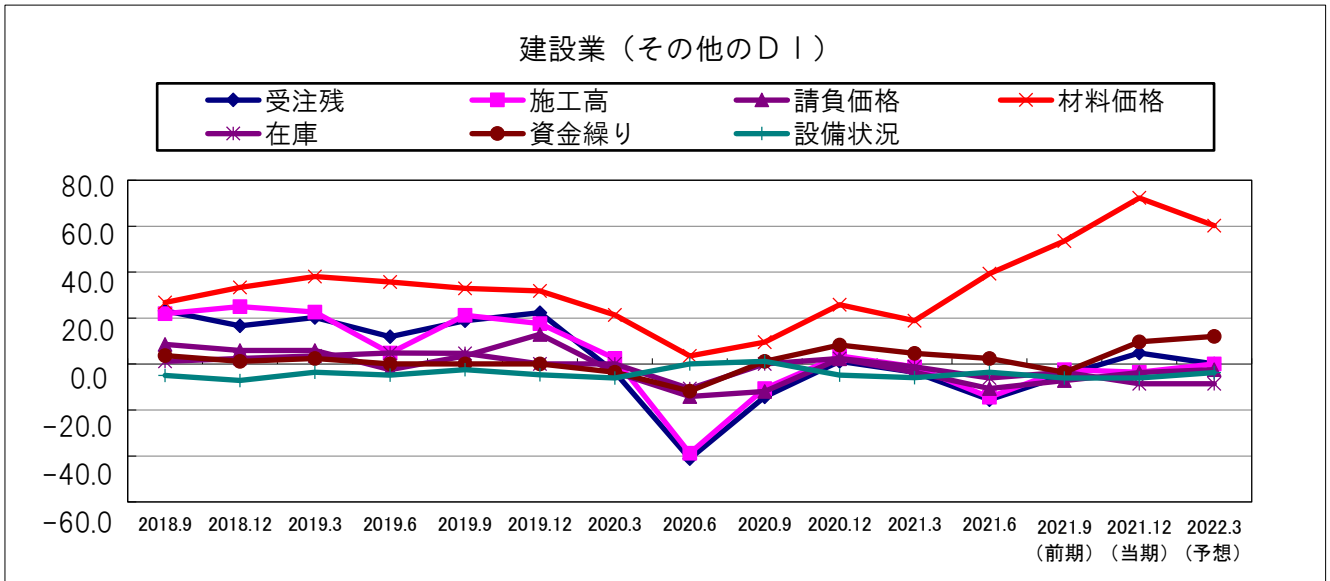
### ○収益D I



収益DIは、対前期比の▲6.1ポイントの▲12.0(前年同期▲2.4・前回予想との差▲8.4)の悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比±0.0ポイントの▲12.0と横這いを見込んでいます。



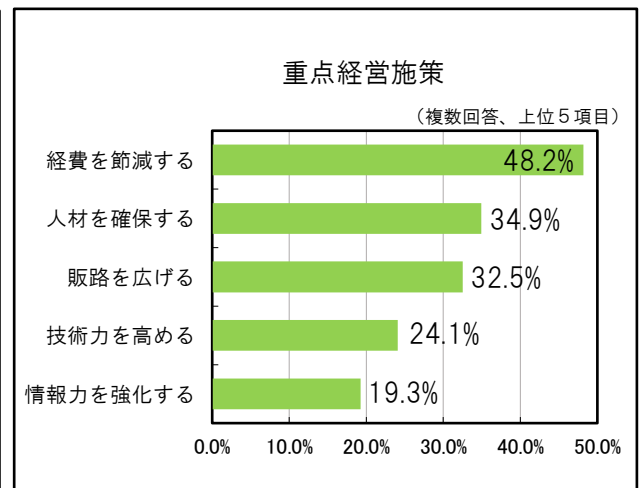
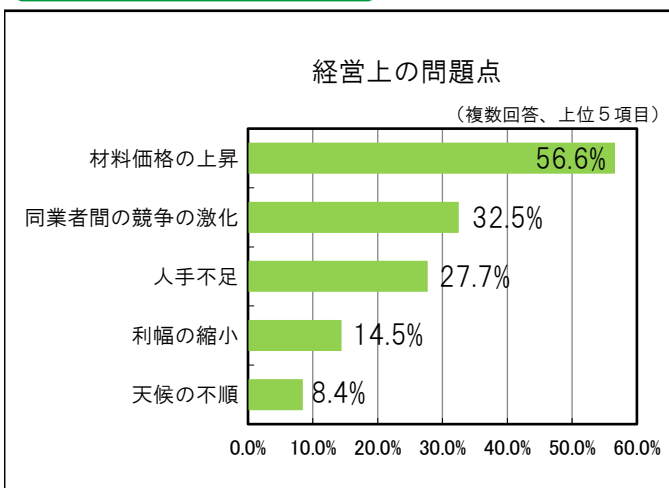
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、受注残DIは+9.6ポイントの4.8、施工高DIは▲1.2ポイントの▲3.6、請負価格DIは+3.4ポイントの▲3.7、材料価格DIは+18.7ポイントの72.3、在庫DIは▲4.9ポイントの▲8.5、資金繰りDIは+13.2ポイントの9.6、設備状況DIは±0.0ポイントの▲6.0となりました。今後は、施工高DI・請負価格DI・資金繰りDI・設備状況DIは上昇、在庫DIは横這い、受注残DI・材料価格DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「材料価格の上昇」が56.6%と最も多く、次いで「同業者間の競争の激化」32.5%、「人手不足」27.7%、「利幅の縮小」14.5%、「天候の不順」8.4%となりました。

【重点施策】

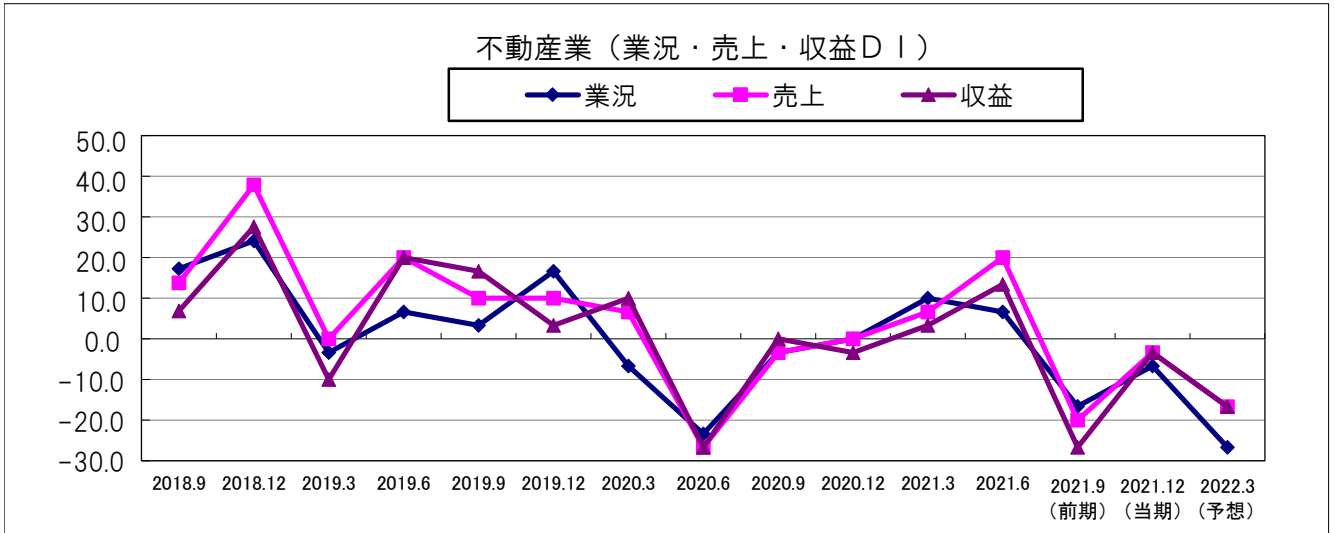
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が48.2%と最も多く、次いで「人材を確保する」34.9%、「販路を広げる」32.5%、「技術力を高める」24.1%、「情報力を強化する」19.3%となりました。

# 不動産業

今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況・売上・収益D I 共に悪化の見込み

## 主要D I 推移



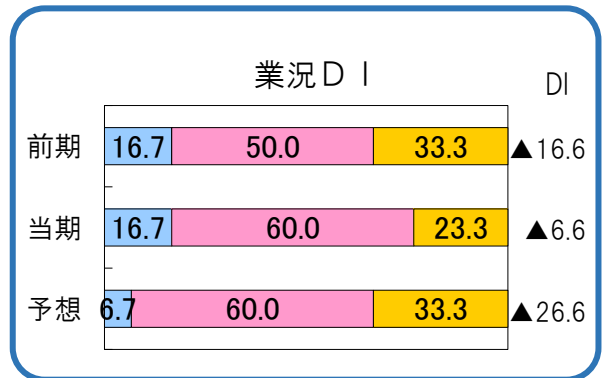
## 主要D I 構成



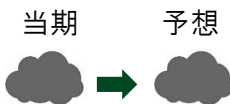
### ○業況D I



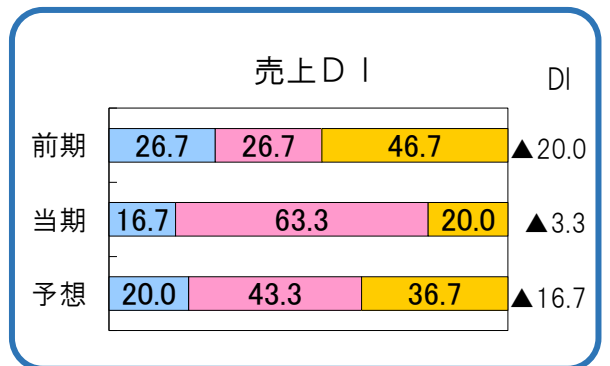
業況DIは、対前期比+10.0ポイントの▲6.6（前年同期0.0・前回予想との差+16.7）と大幅な改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲20.0ポイントの▲26.6と大幅な悪化を見込んでいます。



### ○売上D I



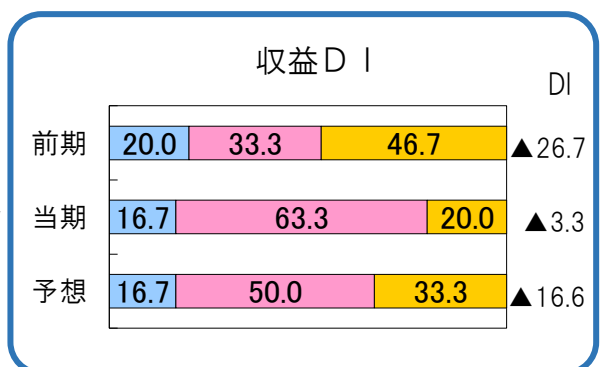
売上DIは、対前期比+16.7ポイントの▲3.3（前年同期0.0・前回予想との差+3.3）と大幅な改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲13.4ポイントの▲16.7と大幅な悪化を見込んでいます。



### ○収益D I

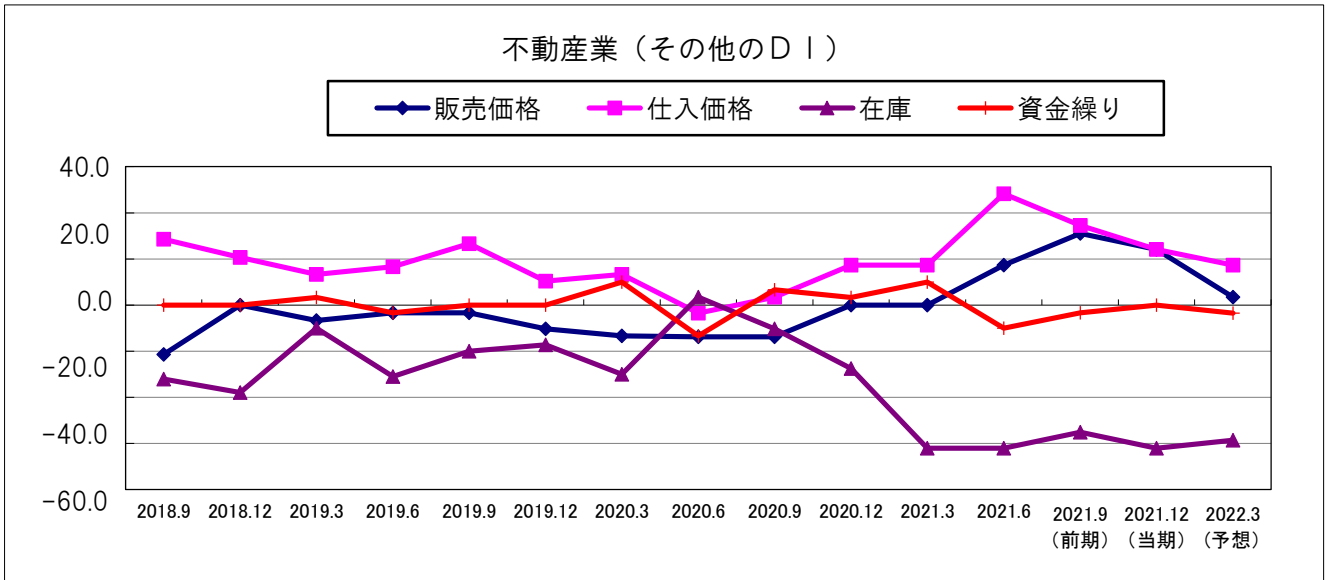


収益DIは、対前期比+23.4ポイントの▲3.3（前年同期▲3.3・前回予想との差+10.0）と大幅な改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲13.3ポイントの▲16.6と大幅な悪化を見込んでいます。





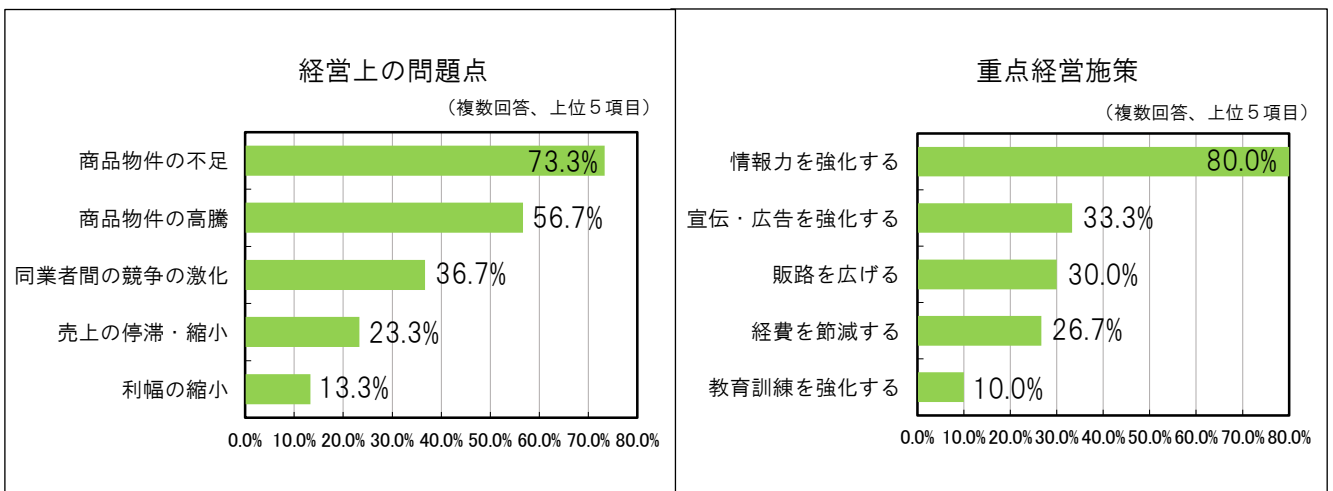
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比で見ると、販売価格DIは▲6.9ポイントの24.1、仕入価格DIは▲10.4ポイントの24.1、在庫DIは▲6.9ポイントの▲62.1、資金繰りDIは+3.3ポイントの0.0となりました。今後は、在庫DIは上昇、販売価格DI・仕入価格DI・資金繰りDIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

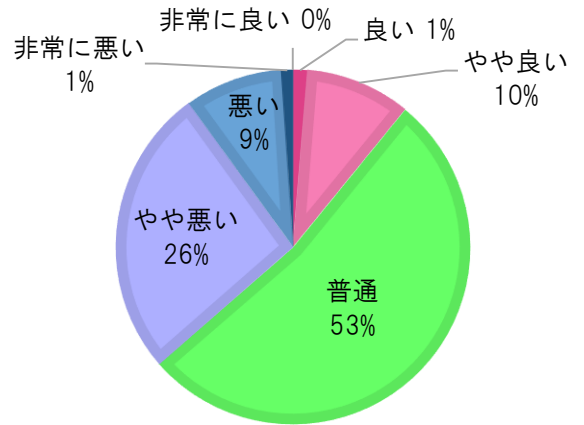
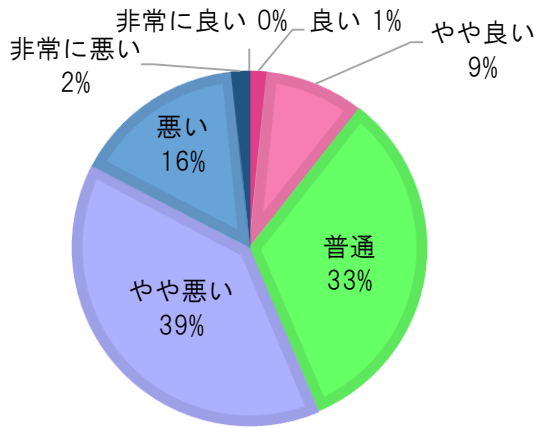
経営上の問題点として挙げられたのは「商品物件の不足」が73.3%と最も多く、次いで「商品物件の高騰」56.7%、「同業者間の競争の激化」36.7%、「売上の停滞・縮小」23.3%、「利幅の縮小」13.3%となりました。

【重点施策】

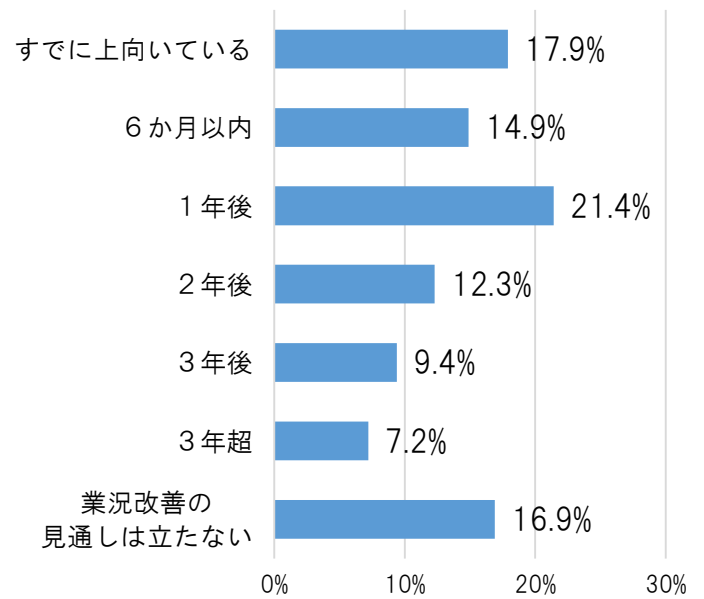
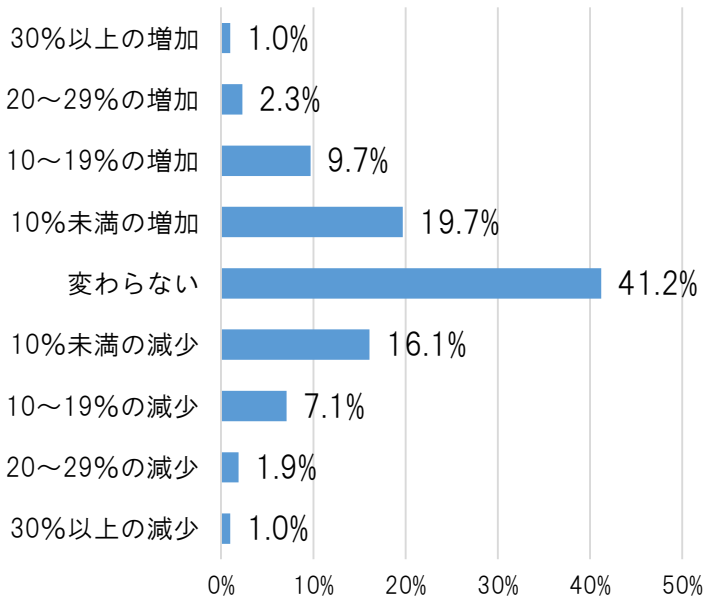
当面の重点経営施策として挙げられたのは「情報力を強化する」が80.0%と最も多く、次いで「宣伝・広告を強化する」33.3%、「販路を広げる」30.0%、「経費を節減する」26.7%、「教育訓練を強化する」10.0%となりました。

単位：（％）

- 1** 2022年の日本の景気をどのように見通していますか。
- 2** 2022年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。



- 3** 2022年において売上額の伸び率は、2021年と比べておおよそどのくらいになると見通していますか。
- 4** 自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。



【アンケート調査員のコメント（抜粋）】

製造業：半導体不足の影響から自動車関連の受注が減少している。  
 卸売業：電気自動車が普及していく影響を懸念する事業者が出てきている。  
 小売業：行動制限緩和により売上回復傾向にあるものの、コロナウイルス感染拡大の状況に不安を感じている。  
 サービス業：人材不足が課題。人材確保・育成のため人件費の増加が見込まれる。  
 建設業：材料価格高騰による価格転嫁ができていないことより収益を圧迫している。  
 不動産業：仕入れ価格の高騰により慎重対応。在庫不足の状態。